

camera view

●「広報つばめ」だけでは物足りないあなたへお送りする「Web版カメラビュー」
https://www.city.tsubame.niigata.jp/keikaku/koho/2_1/index.html



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



●7月9日 吉田野球場
**第10回スワローズカップ
 燕市代表が決定!**

今年で10回目となるスワローズカップ。市内7チームが参加し、南小スターズが見事予選会を制しました。11月に燕市で行われる本大会での活躍が楽しみです!



●7月12日 吉田小学校
**オリ・パラカトラリーで
 いただきます!**

東京オリ・パラの選手村食堂で使われた、燕製のカトラリーが学校給食にお目見え。子どもたちは、活躍したアスリートに思いをはせながら給食を食べました。



●6月22日 燕市役所
燕の魅力、伝えるぞ!

市内の小学5・6年生17人を「子ども記者」に任命。企画・取材・編集をすべて自分たちで行い、記事の完成を目指します。発行は11月1日。ご期待ください!



●6月25日 燕市文化会館
**英語でスピーチ
 大好きな「燕」**

「ずっと住みたくなるまち燕」をテーマに英語スピーチコンテストを開催。思い描く理想の燕の姿や地域とのつながりの大切さなど表現力豊かに発表しました。

今月のつばめっ子

●元気なつばめの子どもの様子をお届けします!



「ゆめづくりスポーツ教室」
プロ選手からバスケの技術を修得だ!
 ●6月26日 分水総合体育館

アルビレックスBBの星野曹樹選手と遠藤善選手を講師に招いてバスケットボール教室を開催しました。参加した市内の男子小・中学生は、トッププレイヤーからの直接指導とあって、表情も真剣。ミニゲームでは2人のプロ選手を相手に、大いに盛り上がりました。



なるほど! 長善館

長善館史料館 ☎0256・93・5400

●1833年に創設された私塾「長善館」。革新的な教育を行い、約80年の運営で約1000人の塾生を輩出しました。

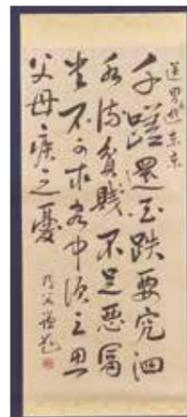


▲2013年に泰の生地の長岡市新組地区に建てられた銅像の視線は、長善館を見据えている

長岡藩の河井継之助を主人公にした映画が話題です。河井に請われ藩医になった門下生がいます。長岡の漢方医の家に生まれた長谷川泰は14歳で入門し、文臺から「良寛の慈愛の心」を学びます。戊辰戦争では、八十里越を敗走中、河井の最後を看取ったとされ、医者としての重要性を痛感します。明治9(1876)年、東京で広く民衆を救うため医学校「済生学舎」を開校。その卒業生たちは泰の教えを実践し、多くの人々を助けに違いありません。

今月の一品

越北之鴻都 長善館
 2代館主鈴木暢軒の漢詩



男鹿の東京に遊ぶを送る

千蹉玉蹴に還る 泗水の流れを究むることを要す
 貧賤悪むに足らざるなり 富貴求むべからず
 客中須らくこれ父母の涙の憂いを思ふべし

乃父謙題す

この詩は、暢軒の息子柿園(鹿之介)が東京に遊ぶ際の送別の詩です。

暢軒は時代を見据えた教育を実践し、多くの優れた人材を世に送り出しました。また、将来の日本を担う人材を育成するために、長男柿園を東京に遊学させます。柿園は近藤真琴に漢学を学び、次いで中村敬宇の「同人社」で英学を学びます。帰郷後は漢学科の他に新たに英学科と数学科を設置して、先進的教育を実践しました。さらに、暢軒は漢詩で柿園の遊学中の心得を示して、儒教の学問を研究することの大切さを説き、遊学中は贅沢は慎んで勉学に励むよう戒めています。暢軒は、長善館の将来を柿園に託し、大きな期待を寄せていることがこの詩からうかがわれます。柿園も親の期待に応えて勉学に励み、長善館を隆盛に導いていくのです。



大河津分水コラム
**次の100年に向けて
 大河津分水ありがとう**

大河津分水の通水を実現しようと200年にわたり東奔西走してくれた先人たち。大河津分水通水のために地すべりやツツガムシ病に負けず、15年にわたり懸命に工事を続けてくれた先人たち。通水してからの100年間で越後平野は大きく発展し、水害が当たり前だった時代から平和が当たり前時代へと大転換しました。先人たちがずっと夢に見てきた未来の世界に私たちは暮らしています。

一方で、大河津分水があったからこそ変わらなかったものがあります。それは故郷を愛してやまない多くの人たちの存在です。

昔と今を、点と点を、人と人を繋ぎ、未来を考えるきっかけを与えてくれる大河津分水に「ありがとう」と伝えたいです。



▲ SNSなどで大河津分水への感謝メッセージを募集しています。(写真は大河津分水100周年Twitterより引用)

感謝メッセージの投稿方法はこちら▶



地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.53



こんにちは。地域おこし協力隊 空き家担当の芦川です。
 今年は、5月に「田んぼアート」の田植えイベントに参加し、協力隊3年目にして初の田植え体験をしました! 日を追うごとに はっきりと絵柄が現れる様子が楽しく、嬉しいこの頃です。
 さて、毎年恒例「お盆の空き家総合相談会」(詳細は13ページ)を8月15日(月)に開催します! 当日は、シルバー人材センター、建設業組合、宅建協会、司法書士会が参加し、皆様の空き家に関するお悩みを1日で相談できる機会となっています。お盆期間、ご家族と集まった際に燕市内にある物件について考えてみてはいかがでしょうか? 現在使っていても、今後空き家となり得る物件であれば、ご相談いただけます。

▼吉田ふれあい広場脇水田の「田んぼアート」



燕市地域おこし協力隊
 芦川 穂子